

～つくばみらいの魅力、発信します！～

第1回市長杯 アームレスリング大会開催！

市では、市民協働のまちづくりを推進するため、市の魅力などを市民目線で発信してもらう、市民特派員とともに、広報紙の取材・編集を行っています。

今回は、「第1回市長杯アームレスリング大会」の様子をご紹介します。



市民特派員
やまだ あき
山田亜希さん

白熱！腕自慢たちの競演

きらくやまふれあいの丘・世代ふれあいの館で4月26日、「第1回市長杯アームレスリング大会」が行われました。同時開催として、県内外からアームレスリング愛好者が集う「野村将希杯」、全国大会への切符を賭けた「茨城県選手権大会」も開催され、延べ192人の腕自慢が集結しました。アームレスリングと聞いて思い浮かべるのが「腕相撲」ですが、この競技には詳細なルールがあり、スポーツとして確立され、誰でも気軽にできる親しみやすさもあって、全国各地で大会やイベントが開催されています。

夏日となったこの日、会場内は熱気に包まれ、応援する声や選手たちの気合いの叫びが響いていました。

アームレスリングは腕を組むところから試合が始まります。互いに自分のポジションを譲らず何度も組み直し、試合の緊張感が伝わります。腕を組み一気に勝負がつくこともあ



れば、お互いの力が拮抗し、一步も動かないことも。思わず息を飲む真剣勝負に、会場が静まりかえる場面もありました。

市長杯レフトハンド軽量級で優勝した中尾凌さん（さいたま市）は現役の高校生。「優勝できて嬉しい。次回もがんばりたい」と話してくれました。ライトハンド軽量級優勝者、磯陸元さん（那須塩原市）は「(所属するアームレスリングの)チームの皆のおかげで優勝できた」と笑顔で話してくれました。重量級のライト・レフトでダブル優勝を果たした近藤豪さん（つくば市）は「仕事柄、腕力には自信があった」と笑顔で話してくれました。

今後、市では新たなスポーツ振興として、マラソン大会の初開催や、平成31年の「茨城国体」に向けたデモンストラーションスポーツとして、「ターゲットバードゴルフ」の大会開催を決定しているとのこと。

どんなスポーツにもドラマがあり、魅了されます。この感動をまた身近で見ることができるので、とても楽しみです。

